

Rotary  Go Playing Fellowship
of Rotarians
ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

NO,38

2022/06/15

HP <http://www.gopfr.org>

宮崎六段（福岡城東）が雪辱

コロナ禍で2年半ぶりの全国大会

中級は馬場三段（名古屋城北） 初級は横井二段（佐野）



前列のカップを手にする3クラス優勝者と団体戦優勝クラブと共に。中央左に新藤大会実行委員長、右隣に塚本審判長。右端に95歳の最年長参加者、出光昭介三段。

今後の囲碁同好会の在り方を考える

第19回 ロータリー全国囲碁大会を終えて

GPFRR 日本支部長 新藤 信之（東京立川こぶし RC）

去る5月14日、東京・市ヶ谷の日本棋院本院にて、コロナ過の収束の兆しが徐々に見えはじめる中、感染予防に配慮しながら、約2年半ぶりで全国囲碁大会を開催することができました。そしてお陰様で無事終了することができました。特に、太田幹事はじめ、大会実行委員会の役員の方には開催に当たり大変お世話になりました。先ず感謝申し上げます。

（大会の詳細については下記の大会報告をお読みください。）

GPFRRは2000年2月に発足して以来、原則的に、国際ロータリー囲碁大会は春に、ロータリー全国囲碁大会は秋に、開催してまいりました。前回の第18回全国囲碁大会は2019年10月5日でした。今回の大会を春に開催したのにはそれなりの訳がありました。



国際ロータリー囲碁大会は、2019年4月6日から7日に韓国・大邱市で第20回大会を開催し、次は、台湾・桃園での開催が決定されていました。しかしその後新型コロナウイルスが世界中に蔓延したことが加わり、3年間中止することやむなきに至りました。

中止の簡単な経緯を説明いたしますと、2020年春、2021年の春、そして今回の2022年の春には、台湾で21回目の大会を開催する準備を太田幹事中心に進めていきましたが、結果的には実現することができませんでした。3度目の今回は、昨年早くより台湾へ何度も開催の打診をしましたが、

楊敏盛台湾支部長・元会長の秘書のJUDYさんからは全く返答がありませんでした。

このような訳で、日本での囲碁大会の空白期間が長引いてもいけないと思い、秋恒例の全国囲碁大会を半年繰り上げ春の実施に踏み切った次第です。

正直に言って、この3年間国際レベルでの国際ロータリー囲碁大会の継続に危機感を持っていました。表面上はコロナ過の影響で中止になったことになっておりますが、2016年第17回国際ロータリー囲碁大会以来、順番に会長職を引き継ぐルールをめぐり、韓国と台湾の間に目に見えない感情的な「しこり」が残ってしまったように感じております。(詳しい経緯はここでは割愛させていただきます)

この囲碁同好会はロータリー親睦活動の一貫であり、独自の基本的理念があります。言うまでもなく、単に同じ趣味を持つもの**同士**の碁会所のような集まりではありません。ロータリアン**同志**、つまり囲碁という共通の趣味を分かち合うことによって、世界のロータリアンの親睦(親善)と理解、知己を増進することを目的としています。

2年半の空白の間、親睦の輪を切らしてはならないと、ニュースレター36号、37号を発刊してきました。その紙面上、婉曲な表現で、支部長としての思い・考えを書きました。日・韓・台3国の囲碁大会が、仮に自然消滅するようなことがあれば、囲碁同好会の在り方を考えなくてはならなくなると思います。

内的な要因による再考の他に、特に21世紀に入り国際ロータリーが変質してきたことと関連し、ロータリー親睦活動に関するR I理事会の考え方も変わってきました。

前回ニュースレター37号で「親睦活動を考える」で若干触れましたが、理事会を代行する事務総長の親睦グループ認証と終結に関する権限が強化されたことです(ロータリー章典42.010.参照)。これまでも毎年9月に活動報告を提出してきましたが、仮に今年の9月に活動報告書を提出しなければ、自動的に終結することになります。

私、個人的見解としては、現在の国際ロータリー傘下の同好会を存続することには消極的です。2000年に田中名誉会長を中心に苦勞されて発足したこの会を簡単にはやめるわけにはいきませんが、R I事務総長から解散を命じられ、残金をロータリー財団に寄付するよう求められれば、それに従わざるを得ません。

しかも、ロータリーブランド使用に厳しいR Iは、恐らく日本だけの囲碁大会開催を認めないでしょう。

今後の台湾支部と韓国支部の対応次第では、自らの去就を含め、組織改革と運営方法を皆さんのお知恵を借りて、決断しなければならないと思っています。

今後とも、ご協力ご支援をお願い申し上げます。

第 19 回ロータリー全国囲碁大会結果 (2022・05・14)

上級者クラス(五段以上)		中級者クラス(三段～四段)	
優勝	宮崎 重人六段(福岡城東)	優勝	馬場 博通三段(名古屋城北)
準優勝	足立盛二郎六段(東京銀座)	準優勝	山内堅太郎三段(東京世田谷南)
3 位	塚本 利光六段(東京京浜)	3 位	菱山 泰男四段(東京北)
4 位	岡本 久永六段(豊橋ゴールデン)	4 位	濱田 広道三段(東京麴町)
初級者クラス(二段まで)		クラブ対抗戦(2人以上)	
優勝	横井 孝(佐野)	優勝	東海RC
準優勝	水野 雅生二段(東京銀座新)	準優勝	豊橋ゴールデンRC
3 位	中嶋 清重3級(東海)	3 位	東京世田谷南RC
4 位	山口 達夫初段(東京立川こぶし)		

コロナに振り回されて

国際大会は中止、春に初の全国大会

RI 公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会(GPFR)日本支部主催の「第 19 回ロータリー全国囲碁大会」が、2022 年 5 月 14 日(土) 午前 10 時から東京・市ヶ谷の日本棋院本院 1 階対局室で行われました。大会は 3 クラスに分かれて、コミ 6 目半のハンデ戦で、持ち時間 30 分の計時制。スイス方式で順位を決定しました。大会参加者はこれまでの最低の 36 名(うち女性 1 名)でしたが、久しぶりの大会とあって再会を喜ぶ挨拶が会場内を埋めて、午後 4 時の閉会まで熱気に包まれていました。

前記の新藤・日本支部長のご報告にあります通り、GPFR の活動はコロナ禍で翻弄されています。この春は日本の感染者が減りだしてきたのに反して、韓国と台湾は前例のない猛威に襲われ、通信まで途絶えてしまったのです。

急遽、秋の全国大会を今春に切り替えて、2 年半延期していた大会をようやく復活することができました。

この再開に当たっては、役員会を事前に開いてコロナ対策を協議しました。碁盤上のパーティーは日本棋院が設置してありましたが、対局ごとに碁笥と時計を殺菌するのか、マスクの着用のままでロータリーソングを歌うのか、昼のお弁当は黙食かとの意見が出されて、過去にない運営となりました。コロナにより全国のロータリアンが減る一方と聞きまして、大会案内に知恵を絞ったのですが、参加申し込みは低調で、さらにエントリーしながら直前のキ

キャンセルがあって、プログラムの書き換え、スイス方式の名簿訂正や時計と弁当手配の変更と、忙しい裏方仕事となりました。

大会は新藤支部長が実行委員長として開会宣言、点鐘のあと、将棋九段の青野照市三段



(東京)がソングリーダーとなり、「君が代」と「我等の生業」の指揮をとっていただきました。

塚本利光審判長(東京京浜)から大会ルールの説明と注意事項を伝えて、10時30分対局開始の号令。午前は1局のみ。昼食挟んで午後には3局行いました。

この結果、初級者クラスは初出場の横井孝二段(佐野)が4連勝

で文句なしの優勝。3勝1敗が3名となり、スイス方式でGPFR役員の水野雅生二段(東京銀座新)が準優勝を勝ち取りました。

中級者クラスも初参加の馬場博通三段(名古屋城北)と菱山泰男四段(東京北)が活躍して、ベテランの山内堅太郎三段(東京世田谷南)がどうにか準優勝に食い込みました。

上級者クラスは前回準優勝に涙した宮崎重人六段(福岡城東)が怒涛の進撃。SAAの足立盛二郎六段(東京銀座)を決勝戦で破り初優勝です。宮崎六段は次回大会まで「ロータリー囲碁チャンピオン」の称号を名乗ることが許されます。さらに、宮崎六段は地元の西日本新聞社の5月27日付け朝刊「ふくおか都市圏」のトップニュースに取り上げられ、コロナの鬱憤を大いに晴らしていただきました。宮崎さん やりましたね。おめでとうございます！

クラブ対抗戦は東京世田谷南、東京銀座、東京の3RCから4名、豊橋ゴールデン、東京中央が3名、東海と東京立川こぶしが2名の計7RCがエントリー。上位3RCが総合点で同点となったため、親睦のロータリーにふさわしくジャンケンで順位を決めました。

GPFRは毎年春に日本、韓国、台湾の輪番制でRI囲碁大会を開催して、秋に全国大会を行ってきましたが、上記の新藤支部長報告にあります通り、今回の全国大会は初の春開催という変則事態となりました。次回全国大会は「第20回記念大会」として本年11月5日におこなわれます。周囲の囲碁好きのお仲間を是非お誘いください。

GPFR日本支部幹事 太田清文(東京RC)



コロナ禍で参加者は少なかったが、熱闘が続く



団体戦優勝東海RC



団体準優勝は優勝経験者の豊橋ゴールデンRC



団体3位も古豪の東京世田谷南RC



初級者クラス優勝の横井二段（佐野RC）



中級者クラスは馬場三段（名古屋城北RC）



ロータリー名人位をかけたの全勝対決に。左は優勝した宮崎六段、右は SAA 委員長の足立六段



ソングリーダーは将棋の青野照市九段（東京）



手前は中級者クラス、奥が上級者クラスの対戦



対局はコロナ対策として会場常設のパーティションのほかに、4人利用の碁盤台を2人で座ることにしたため、広い会場をも手狭に感じられた。対戦を終えるごとに手の消毒をお願いしました。ただし、時計と碁笥の消毒は見送ることになりました。

次回全国大会は11月5日（土）

GPFR 日本支部は 2022 年 11 月 5 日（土）午前 10 時から東京・市ヶ谷の日本棋院本院 1 階の対局室で記念となる「第 20 回ロータリー全国囲碁大会」を開催します。

この全国大会はコロナ禍により 2019 年 10 月より延期が続き、ようやく今春 5 月に 2 年半ぶりの再開にこぎつけました。このため、今回は 20000 年の創立以来、初の春と秋の 2 度開催となります。

今回も全国囲碁大会は 3 クラス制、1 時間の早碁戦で、同クラブ上位 2 人の得点によるクラブ対抗戦も行います。

3 クラスとも個人上位 4 位まで、またクラス対抗戦は上位 3 位までの RC に入賞楯を用意しています。登録料は 7000 円（昼食代、賞品代等含む）。参加ご希望の方は同封の「全国大会参加申込書」にご記入のうえ、下記の専用 FAX に送信してください。折り返し「参加要領」と送金案内を返信しますので、FAX と携帯番号をお書きください。

会費納入のお願いと全国大会のご案内

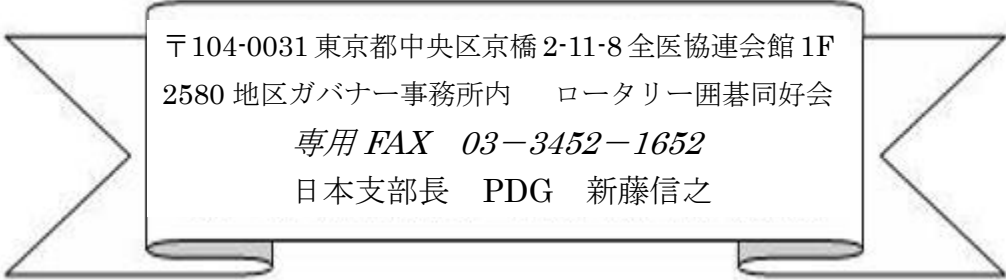
ロータリアンの囲碁仲間を GPFR にお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位を明記して、下記の GPFR 日本支部宛に FAX（03-3452-1652）で送信をお願いいたします。年会費 2000 円。入会金はありません。

年会費は、同封の郵便振替用紙（口座番号 00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛）をご利用のうえ、「2022～23 年度会費」として 6 月末までに 2000 円をご送金ください。

また、10 月 8 日（土）開催の全国大会参加ご希望の方は、「20 回全国大会参加」と明記して、上記の会費 2000 円と登録料 7000 円の計 9000 円を郵便振替口座あてにご送金ください。大会参加の申し込み締切日は 10 月 28 日（金）です。

なお、振込み手数料はご負担ください。GPFR は皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入のご理解とご協力をお願い申し上げます。

GPFR の活動については、[HP\(http://www.gopfr.org\)](http://www.gopfr.org)をご覧ください。



〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1F
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会
専用 FAX 03-3452-1652
日本支部長 PDG 新藤信之